

# 建設技術公開「E E東北'21」開催にあたって

平成2年度に4団体、21社の参加による「建設新技術展示会」としてスタートした「E E東北」も、お陰様をもちまして30回目を迎えることとなりました。

この度、30回の節目の開催として、319の出展者による934技術の展示を行うとともに、記念講演、インフラ点検・長寿命化デモンストレーション、i-Construction体験広場など新しい企画を用意し、ご案内させていただいております。

メイン会場では、これまでどおり、設計・施工、維持管理・予防保全、防災・安全、建設リサイクル等に関する技術をはじめ、「i-Construction（アイコンストラクション）」の中核となるICT（情報通信技術）など最新の技術を4つの技術分野に区分して展示しております。

また、隣接の会議棟では4つの技術分野をテーマとした新技術プレゼンテーションを行います。さらに、西館展示場では、インフラ点検・長寿命化技術に関するデモンストレーションを行うほか、サテライト会場では、i-Construction体験広場が開催されます。

国土交通省では、「生産性革命元年」と位置付けた2016年を起点に建設現場の生産性向上に向け、ICT施工やi-Construction等の取り組みを進めてきたところです。しかし、新型コロナウイルス感染対策を契機とした非接触・リモート型の働き方への転換と抜本的な生産性や安全性向上を図るため、データとデジタル技術を活用したインフラ分野のデジタルトランスフォーメーション（DX）を強力に推進する必要があります。この取り組みでは、ICTやIoT、デジタル技術等の徹底活用により、業務プロセスや働き方の抜本的な変革、生産性の向上を図るとともに、3次元データを能動的に活用することで、より地域住民のニーズに最適化したインフラサービスの提供を実現するものです。

この取り組みを拡大推進するためにも、より多くの方々に最新技術を見て、聞いて、触れていただき、より多くの新技術が各地の現場で効果が発現され、生産性の向上が一段と加速することを期待しております。

最後に、今回の「E E東北'21」の開催にあたり、ご支援ご協力をいただいた皆様に御礼を申し上げますとともに、東北地方のさらなる発展に向けて「E E東北'21」が役立っていくことを祈念してご挨拶とさせていただきます。

令和3年6月

E E東北実行委員会

委員長 東北地方整備局 企画部長

角 湯 克 典



## E E 東北で生産性向上促進へ

一般社団法人日本建設業連合会

元東北支部長 平田尚久

E E 東北の開催が、30回目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

今年、東日本大震災から節目の10年目を迎えましたが、E E 東北は、2011年の震災を境に大きく変わったと感じております。震災前は6,000名前後だった来場者が、震災後には倍増し、近年では16,000名を超えるなど、関心の高さを感じます。

近年、人口減少・少子高齢化といった社会構造の変化に耐え得る、建設業の「働き方改革」や「生産性向上」が課題となっています。E E 東北の「新技術の公開」や「開発促進」は、国の2025年度までに生産性2割向上や地域社会の発展に大いに寄与していると思います。

日建連は、「働き方改革」と「生産性向上」を2本柱に、まずは「週休二日の実現」を目指した環境整備に取り組んで来たところですが、車の両輪である「働き方改革」と「生産性向上」は一緒に進んで行かなければなりません。一歩ずつでも新3K（給与・休暇・希望）の実現へ業界一丸となって取り組むことが重要と考えております。

結びにあたりまして、E E 東北の益々の発展と関係団体の皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、お祝いの言葉と致します。

## 祝辞

日本道路建設業協会 東北支部

支部長 田祐久

E E 東北の開催が30回を迎えられましたことを心よりお喜び、お祝い申し上げます。

この輝かしい技術公開の場に第1回から参画できたことはこの上ない喜びであり、大変な栄誉と考えております。

年々出展数が増え、規模が大きくなっていくなかで、「品質確保」や「コスト縮減」等の時代ニーズに対応して開発したものや未曾有の大震災からの復興に向けた新技術が多数展示され、建設関連業界の努力、研鑽、力強さを目の当たりにして驚嘆したことが思い起こされます。

当協会といたしましても、国民生活の安全・安心の確保、国土強靱化の一端を担う重大な社会的使命を果たすため鋭意努力していく所存であります。

E E 東北におかれましても、この記念すべき第30回を一つの節目として、新たな飛躍の年となるよう微力ながらお手伝いをさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に、東北地方整備局並びに東北技術事務所の皆さまを始め関係各位のご活躍ご健勝をお祈りいたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝 辞

東北建設業協会連合会

会長 千葉嘉春

この度、EE東北の開催が、30周年を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。また、30年にわたる開催に関係者の皆様のご尽力に敬意を申し上げます。

建設業に係る技術の促進は、建設産業を支えていくためには、必要かつ不可欠であり、産学官を対象としたこの取り組みは、建設事業の技術開発を一層広めたと認識しております。

時代とともに新技術、新工法が進歩していく中、EE東北での新技術、新工法の各企業の展示等は、産官学とも学ぶべきものが多く、東日本大震災の復旧・復興に係る新技術開発等時代のニーズに対応した新技術の公開等、今後も一層重要な役割を果たしていくものと期待しているところです。

いま、新担い手3法の改正に伴う働き方改革の一環として、生産性の向上が求められており、ICTの普及拡大等技術の革新が、現状の社会を支える非常に重要な役割となっています。

今後、地域建設業としても、産学官共同のもとEE東北の役割を十分認識するとともに、EE東北の更なる発展と関係者の皆様のご活躍を祈念し、お祝いの言葉と致します。

# 祝 辞

一般社団法人 日本建設機械施工協会 東北支部

支部長 高橋 弘

(東北大学大学院環境科学研究科・教授)

新技術を広く公開する建設技術展示会であるEE東北が、この度めでたく30周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

第1回目のEE東北は、1990年に東北技術事務所構内を会場にして開催されました。当初の実行委員会は6団体で構成されており、日本建設機械施工協会（以下、JCMA）東北支部は、第1回目から実行委員会構成団体としてEE東北に参画して参りました。第1回目の出展者数は20社36技術であり、そのうちJCMA会員の出展は3社7技術でありましたが、皆様もご存じの通り、EE東北の出展者数は年々増加し、昨年度は全体で295社891技術の出展がありました。そのうちJCMA会員の出展は20社75技術であり、第1回目比べて約10倍に増加しております。特に2011年の東日本大震災後では、出展者数が一気に倍増し、震災復旧に多大な貢献を果たしたことは言うまでもありません。

本年度は、第30回記念イベントとしてi-Construction体験広場が企画されており、JCMA東北支部が中心となって企画を進めております。今後も実行委員会構成団体として、EE東北の発展に貢献していく所存です。EE東北の益々の発展を祈念して、お祝いの言葉といたします。

## E E 東北の発足当時

株式会社 建設環境研究所

太田 宏



「E E 東北'21」の開催を心からお喜び申し上げます。E E 東北実行委員会をはじめとした関係者の30年間にわたるご尽力に心から敬意する次第です。E E 東北のことは、もう記憶も曖昧になりましたが、発足当時の思い出をたどりました。

小生が平成元年11月に東北技術事務所に赴任した時、前任の所長から「東北技術事務所の主催で建設新技術展示会を開催したが、この展示会を今後も継続していくために官民共同主催の形で実施したらどうか。」という引継ぎを受けたのが始まりでした。

当初の出展者数は、現在の十分の一程度だったように思います。会場も東北技術事務所の構内であり、開会セレモニーでは隣にある幼稚園の子供達を招待するなど、手作り感に満ちた展示会でした。また官民共同主催と装いも新たにした出発のため、展示会の愛称を考えようという副所長の発案をもとに「E E 東北'90」と名付け、そののち現在に至るのをご存じのとおりです。E E 東北は、その後について開催された各地方における建設新技術展示会の先駆けとなりました。

E E 東北が建設技術の進歩に貢献し、益々発展することを祈念いたしております。

## E E 東北 30 回記念に思う

(一社) 日本建設機械施工協会東北支部

参与 岩本 忠和

(元 東北技術事務所副所長)



E E 東北30回記念おめでとうございます。E E 東北の前身となる「第1回新技術・新工法・新材料の公開実験」を平成元年度に開催した事はあまり知られておりません。そのことについて少し思い出してみたいと思います。

昭和60年代になると、東北技術事務所の構内にある試験棟や工場群、建設機械の試運転場などの諸施設をより高度な利用をはかることが求められ、検討した結果、将来にわたって諸施設を有効活用出来る「新技術・新工法の公開実験」を開催することに決まり、「第1回新工法・新材料の公開実験」を平成元年に開催することになりました。

展示するハイテク技術は、(社)日本建設機械化協会、(社)日本建設業連合会、(社)日本道路建設業協会などにご協力を頂き、9社15件の新技術、新工法、新材料が展示・実演されることになりました。

展示実演会は平成元年8月9日(金)13時から開催され、東北各地から見学者が見えられ、半日の開催としては驚異的な830名が集まりました。この展示会は、平成2年度からはE E 東北として新出発し、現在に至っております。

32年前のささやかな技術公開実験が、今回のような大規模なE E 東北に発展している事をうれしく思っております。

## 「EE 東北」の誕生

(一社) 日本建設機械施工協会 東北支部

参与 丹野 光 正

(元 東北地方建設局 道路部 機械課長)



「EE東北」が、30回を迎えるとのこと、お喜び申し上げます。

「EE東北」を開催するにあたり、「EE東北」の企画、実行委員会の設立・運営を、小生(当時、東北技術事務所・建設専門官)が担当しました。

また、清水企画部長・森本局長への説明は、出張中の事務所長・技術副所長に代わり、小生が担当しました。

なお、EE東北の開催は、準備の関係から、最初だけ秋でしたが、本省の了解を得て、現在のような、5月末から6月上旬の初夏に変えました。

この種のイベントは、大都市圏の関東や関西で、土木の日などを中心に秋に開催されていました。しかしながら、東北地方で冬を前に、工事の最盛期でもあり、関東や関西と重複する時期では、参加企業・新機種や新技術数、見学者数も、多くは期待出来ないのが、新年度の体制が落ち着き、好天も期待出来る初夏・梅雨入り前の開催に変更したものです。

盛況・好評だった「EE東北90」を背景に、初夏の開催を、本省建設機械課長などに要望・説得しました。「なぜ、東北は、初夏・開催なのか？」 関東や関西の後では？

\* 「日の出は東北から」と…。 大笑いで、了解をいただきました。

早いもので、30年もの歳月が流れました。

「継続こそ、力なり」

皆様には、健康にも留意され、大変でしょうが、技術の先達として、ご精励ください。今年の「EE東北」も、楽しみにしております。

昨春で退職し、自由過ぎる時間の中で、毎日を過ごしています。

初夏になれば、登山が待っています。

# 建設技術公開「EE 東北'21」概要

## 広げよう新技術 つなげよう未来へ

### 目的

建設事業に係わる新技術、新工法、新材料、その他時代のニーズに対応して開発された技術を公開し、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と良質な社会資本の整備を通じて、社会に寄与することを目的としています。

※EE東北のEEとは、英語の Engineering Exhibition (エンジニアリング・エキジビション) の略で、新技術を広く公開するという意味が込められています。

※EE東北は平成2年から開催しており、今回30回目の実施となります。

### 開催内容

#### 6/2 [WED] Program

- 10:00～ 【開会式】  
本館会議棟大ホール(A,B)
- 10:00 【受付開始】本館展示棟C棟入口  
～16:30 【新技術展示会】本館展示棟、屋外展示場  
【特設コーナー】本館展示棟コンコース

- 10:30 【基調講演】  
～11:30 本館会議棟大ホール(A,B)

#### 「建設デジタル・トランスフォーメーション(DX)による建設事業の挑戦と未来像」

国土交通省 技監 山田 邦博

【プロフィール】 出身 愛知県  
昭和59.3. 東京大学大学院 工学系研究科  
土木工学専門課程 修了  
昭和59.4.1 建設省 採用  
(略)  
平成24.9.11 水管理・国土保全局 治水課長  
平成26.7.8 大臣官房 技術審議官  
平成27.7.31 近畿地方整備局長  
平成28.6.21 水管理・国土保全局長  
平成30.7.31 内閣官房国土強靱化推進室次長  
令和 1.7.9 技監



- 10:00 【インフラ点検・長寿命化技術デモンストラーション】西館  
～16:30

- 10:00 【i-Construction体験広場】  
～16:30 特設会場(シャトルバス送迎)

- 13:00 【新技術プレゼンテーション】  
～16:15 本館会議棟大ホール(A,B)

#### 6/3 [THU] Program

- 9:30 【受付開始】本館展示棟C棟入口  
～16:00 【新技術展示会】  
本館展示棟、屋外展示場  
【特設コーナー】本館展示棟コンコース

- 10:30 【特別講演】  
～11:30 本館会議棟大ホール(A,B)

#### 「AI技術の活用により変わる インフラ建設・維持管理」

東京大学大学院工学系研究科総合研究機構

全 邦釘(チョン・バンジヨ)  
東京大学特任准教授



【プロフィール】 出身 大阪府  
平成15年東京大学工学部を卒業  
平成22年にWayne State UniversityでPh.D.の  
学位を取得。

その後、Yonsei University, 愛媛大学を経て、平成31年4月より東京大学大学院工学系研究科特任准教授。  
専門はAI, IoT技術を活用したインフラ維持管理、およびICT技術などの建設現場への導入による生産性向上の取り組みであるi-Construction。  
論文なども多数発表しており、また土木学会「構造工学でのAI活用に関する研究小委員会」の委員長として同分野での議論をリードするなど、多彩な活動を行っている。

- 9:30 【インフラ点検・長寿命化技術デモンストラーション】西館  
～15:45

- 9:30 【i-Construction体験広場】  
～16:00 特設会場(シャトルバス送迎)

- 13:00 【新技術プレゼンテーション】  
～15:00 本館会議棟大ホール(A,B)


### 主催

EE東北実行委員会 (委員長：東北地方整備局 企画部長)

#### 【構成団体】

一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北コンクリート製品協会、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、東北建設業協会連合会、一般社団法人東北地域づくり協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社

### 後援

公益社団法人土木学会東北支部、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人先端建設技術センター、河北新報社、日刊建設工業新聞社東北支社、株式会社日刊建設通信新聞社、株式会社建設新聞社、株式会社日本建設新聞社仙台総局、株式会社鉄鋼新聞社

## 技術分野別出展者数及び出展技術数

技術分野	技術分野別 出展者数	出展技術数	うちNETIS登録技術数
A 設計・施工の技術分野	121	374	62
B 維持管理・予防保全の技術分野	115	309	53
C 防災・安全の技術分野	66	194	30
D 建設リサイクル・その他の技術分野	17	57	6
計	319	934	151

(令和3年5月14日現在)

## 所属別出展者数及び出展技術数

構成団体名	今回（E E東北 '21）		前回（E E東北 '19）	
	出展者数	出展技術数	出展者数	出展技術数
(一社) 日本建設業連合会	27	79	23	63
(一社) 日本道路建設業協会	10	31	10	30
東北建設業協会連合会	5	13	4	9
(一社) 日本建設機械施工協会	22	63	20	75
(一社) 東北コンクリート製品協会	14	62	13	52
(一社) 全国特定法面保護協会	7	17	5	14
(一社) 日本埋立浚渫協会	6	18	5	17
(一社) 建設電気技術協会	3	5	5	10
(一社) 建設コンサルタント協会	30	89	24	80
単独出展	195	557	186	541
計	319	934	295	891
NETIS登録件数		151		214

(令和3年5月14日現在)

## E E東北の経緯

	E E東北 '16	E E東北 '17	E E東北 '18	E E東北 '19
開催日	H28.6.1～6.2	H29.6.7～6.8	H30.6.6～6.7	R元.6.5～6.6
開催場所	夢メッセみやぎ	夢メッセみやぎ	夢メッセみやぎ	夢メッセみやぎ
出展者数	304	292	295	295
出展技術数	832	869	889	891
来場者数(人)	14,200	15,700	16,300	16,500



# i-Construction体験広場（出展者・技術一覧およびプログラム）

## 内容 ICT活用工事デモンストレーション

### 出展一覧

No.	小間番号	出展者名	技術名
1	E-1	日本キャタピラー 合同会社	ICT建機アップグレードソリューション
2	E-2	ユナイテ 株式会社	3D-MC T S フィニッシャー・路面切削機 3D-MC T S 路面切削システム RD-MC 路面切削機
3	E-3	株式会社 カナモト	3Dマシンガイダンス【E三・S】イーサン・エス
4	E-4	リーグルジャパン 株式会社	VUXシリーズ UAV搭載型レーザースキャナー VZ-400i 地上型レーザースキャナー
5	E-5	株式会社 建設システム	i-Construction対応3Dデータ作成 スマート施工でICT施工を「普段使い」に 土木標準積算データを利用した施工管理システム
6	E-6	株式会社 トプコンソキアポジショニングジャパン	3Dテクノロジーを用いた計測及び誘導システム 地上型3次元レーザースキャナによる形状計測
7	E-7	サイテックジャパン 株式会社	スキャンングトータルステーション 拡張現実ARシステム 次世代型 ICT MC/MGシステム
8	E-8	日立建機日本 株式会社	ZX135USX-6 ICT油圧ショベル
9	E-9	株式会社 ダイワ技術サービス	i-Con計測サービス
10	E-10	コマツカスタマーサポート株式会社 東北カンパニー	ICT油圧ショベル PC78USi-10
11	E-11	Dアカデミー東北	ドローン操縦者・安全運行管理者の養成教習 測量に特化した教習付きドローン販売と支援 令和元年度i-Con大賞 建設 ICT 総合研修
12	E-12	西尾レントオール 株式会社	バックホウ3Dマシンガイダンスシステム トラックローダー TL10V-2 敷鉄板用マグネット

※都合によりプログラム内容に変更等が発生する場合がございます。

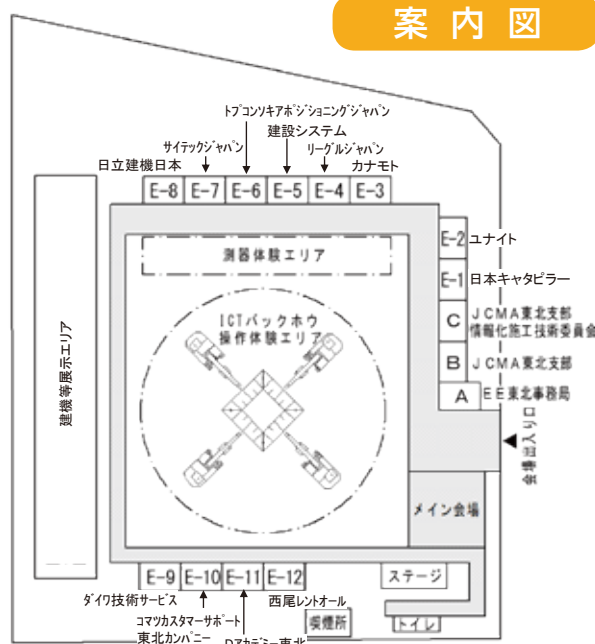
### デモンストレーションスケジュール

- 6月2日(水) ①13:00～13:30  
②14:30～15:00  
6月3日(木) ①10:30～11:00  
②13:00～13:30  
③14:30～15:00

### 会場へのアクセス

会場へは夢メッセみやぎ正面シャトルバス乗り場からシャトルバスを運行します。(約3分)  
本会場からシャトルバスを15～20分間隔で運行  
会場には一般車の駐車場がありません、シャトルバスをご利用ください。

### 案内図



## インフラ点検・長寿命化技術デモンストレーション(出展者・技術一覧およびプログラム)

6月2日(水) 西館展示場

小間番号	実演時間	構成団体	企業名	技術名
H-01	11:00、 14:00	日本建設機械施工協会	西松建設株式会社	センサBOXだけで始められるインフラ点検システム OKIPPA
H-02	10:00～ 16:30	日本建設業連合会	株式会社熊谷組	床コンクリートのひび割れ計測ロボットの開発
H-03	10:00～ 16:30	建設コンサルタンツ協会	株式会社復建技術コンサルタント	カート式電磁波レーダーを用いた床版内部調査

※都合によりプログラム内容に変更等が発生する場合がございます。

6月3日(木) 西館展示場

小間番号	実演時間	構成団体	企業名	技術名
H-01	11:00、 14:00	日本建設機械施工協会	西松建設株式会社	センサBOXだけで始められるインフラ点検システム OKIPPA
H-02	09:30～ 15:45	日本建設業連合会	株式会社熊谷組	床コンクリートのひび割れ計測ロボットの開発
H-04	09:30～ 15:45	東北コンクリート製品協会	中栄コンクリート工業株式会社	1.コンクリート構造物のクラック自動抽出システム 2.コンクリート用超音波探査機 3.遠隔からのコンクリートの浮き探査装置

※都合によりプログラム内容に変更等が発生する場合がございます。



# 新技術プレゼンテーション プログラム

6月2日(水) 本館会議棟Aホール 13:00～16:15

発表番号	テーマ	発表時間	出展者名	プレゼンテーション技術名	小冊番号
A-1	設計・施工	13:00～13:15	三信建設工業(株)	高圧噴射攪拌工法 (V-JET工法)	A-29
A-2	設計・施工	13:15～13:30	パワーブレンダー工法協会	パワーブレンダー工法	A-40
A-3	設計・施工	13:30～13:45	日本基礎技術(株)東北支店	Ground-4D	A-90
A-4	設計・施工	13:45～14:00	MIT S工法協会	MIT S工法CMS-Sシステム	A-14
A-5	設計・施工	14:00～14:15	佐藤工業(株) 東北支店	スタジアム芝育成温度制御システム「ソルコン」	A-77
A-6	設計・施工	14:15～14:30	ガラス発泡資材事業協同組合	ガラス発泡リサイクル資材 スーパーソル	A-17
A-7	-	-	-	-	-
A-8	維持管理・予防保全	14:45～15:00	古野電気(株)	GNSS自動変位計測システム「DANA」	B-44
A-9	維持管理・予防保全	15:00～15:15	オリエンタル白石(株)	炭素繊維複合材ケーブルを使用したPC床版	B-31
A-10	維持管理・予防保全	15:15～15:30	(株)マルイ	鉄筋腐食調査器「MULCO」	B-66
A-11	維持管理・予防保全	15:30～15:45	寿建設(株)	ロックボルト荷重計	B-35
A-12	維持管理・予防保全	15:45～16:00	国立研究開発法人 土木研究所	コンクリート橋桁端部に用いる排水装置 -桁端部の腐食環境改善-	F-06
A-13	防災・安全	16:00～16:15	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所	「3D浸水ハザードマップ作成技術」	F-07

※都合によりプログラム内容に変更等が発生する場合がございます。

6月2日(水) 本館会議棟Bホール 13:00～16:15

発表番号	テーマ	発表時間	出展者名	プレゼンテーション技術名	小冊番号
B-1	設計・施工	13:00～13:15	丸栄コンクリート工業(株)	大型矢板式護岸「笠コンウォール」	A-51
B-2	設計・施工	13:15～13:30	陽光建設(株)/イビデングリーンテック(株)	「GTF受圧板工法」	A-91
B-3	設計・施工	13:30～13:45	アンダーパス技術協会	SFT工法	A-15
B-4	設計・施工	13:45～14:00	(株)関電工	エコマークの舗装補修用常温合材 "エコミックス"	A-21
B-5	設計・施工	14:00～14:15	(株)栗本鐵工所 東北支店	トンネル内露出消火配管用ダクタイル鉄管の ご紹介	A-34
B-6	設計・施工	14:15～14:30	(株)アサヒテクノ	孫にも解かるキャビテーション	A-27
B-7	-	-	-	-	-
B-8	維持管理・予防保全	14:45～15:00	ハスクバーナ・ゼノア(株)	ロボット芝草刈機「Automower™」による 草地管理の自動化	B-39
B-9	維持管理・予防保全	15:00～15:15	コニシ(株)	コンクリート片はく落防止工法 「ボンドKEEPメンテ工法VM-4」	B-47
B-10	維持管理・予防保全	15:15～15:30	東急建設(株)	トンネル全断面点検・診断システム iTOREL(アイトーレル)	B-32
B-11	維持管理・予防保全	15:30～15:45	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻	AIを活用したコンクリート構造物の健全性診断	F-04
B-12	-	-	-	-	-
B-13	維持管理・予防保全	16:00～16:15	(株)三和技術コンサルタント/ (株)カナン・ジオリサーチ	GMS3による技術提案	G-06

※都合によりプログラム内容に変更等が発生する場合がございます。

6月3日(木) 本館会議棟Aホール 13:00～14:45

発表号	テーマ	発表時間	出展者名	プレゼンテーション技術名	小冊番号
A-14	防災・安全	13:00～13:15	Geo BANK 工法研究会	Geo BANK 工法	C-11
A-15	防災・安全	13:15～13:30	KJS協会/アンカー補修協会/ NIMアンカー協会	グラウンドアンカーの 維持管理技術	C-46
A-16	防災・安全	13:30～13:45	エポコラム協会 東北支部	エポコラム工法(Loto・Taf・Pls工法)	C-26
A-17	防災・安全	13:45～14:00	日本サミコン(株)	雪庇防止柵 (セピノンVF)	C-10
A-18	防災・安全	14:00～14:15	(一社)セメント協会	土を固めるセメント系固化材	C-04
A-19	防災・安全	14:15～14:30	PANWALL工法協会	地山補強土PANWALL (パンウォール) 工法	C-40
A-20	設建設リサイクル・ その他	14:30～14:45	(株)ドーコン	猛禽類の保全	D-07

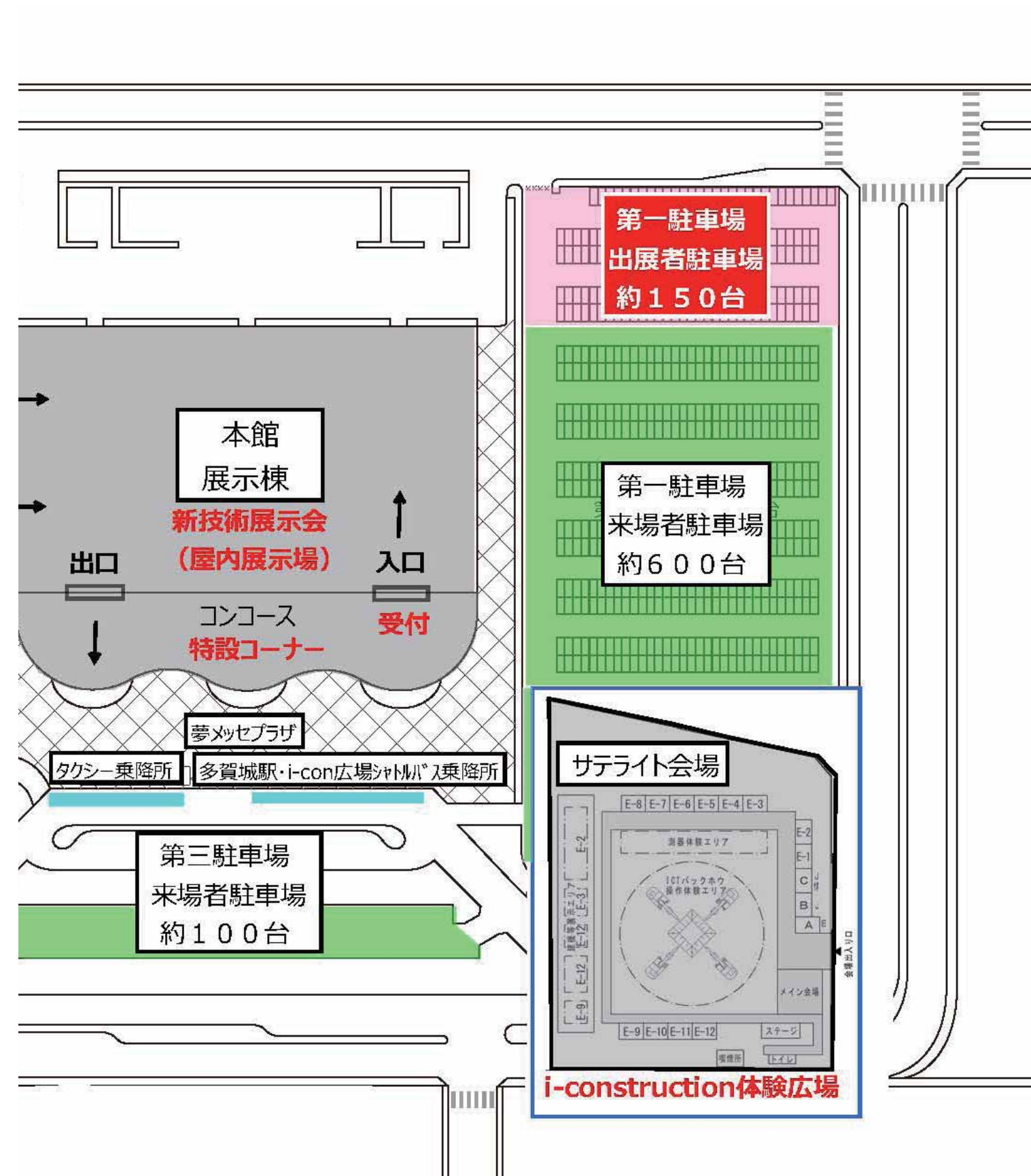
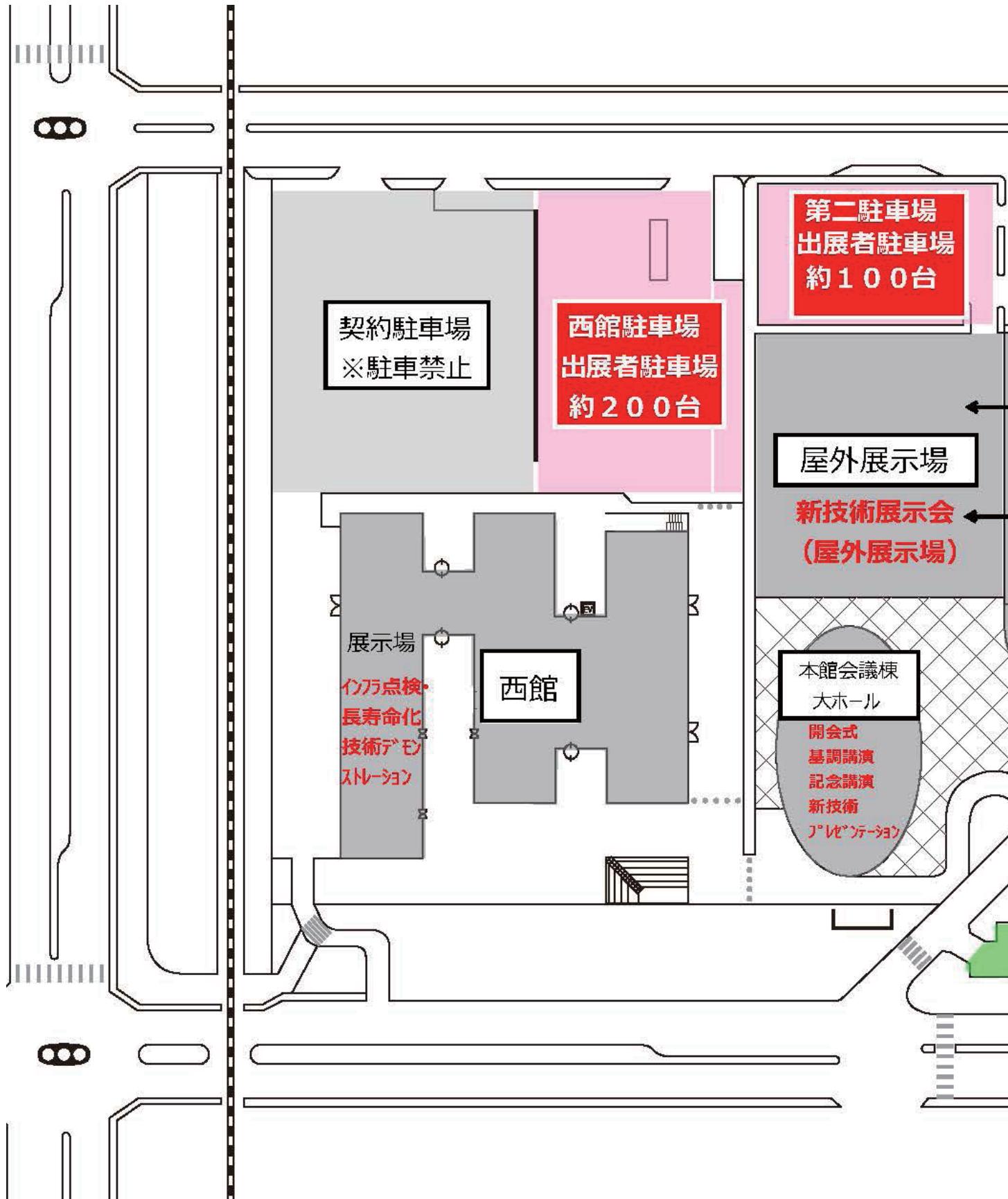
※都合によりプログラム内容に変更等が発生する場合がございます。

6月3日(木) 本館会議棟Bホール 13:00～15:00

発表号	テーマ	発表時間	出展者名	プレゼンテーション技術名	小冊番号
B-14	防災・安全	13:00～13:15	ベルテックス(株)	ボルテックスバルブ(次世代型流量制御装置)	C-03
B-15	防災・安全	13:15～13:30	(株)和建	仮設落石防護柵用 とまった君シリーズ	C-41
B-16	防災・安全	13:30～13:45	大日本土木(株)	先端拡大型補強材 「ミニアンカーPI」	C-51
B-17	防災・安全	13:45～14:00	(株)トーエス	パワーモンスター(POWER MONSTER)	C-39
B-18	防災・安全	14:00～14:15	理研興業(株)	ワイヤーロープ用視線誘導標	C-24
B-19	防災・安全	14:15～14:30	(株)パスコ/JUAVACドローンエキスパート アカデミー仙台校	ドローン搭載型レーザースキャナによる 3次元測量技術	C-34
B-20	防災・安全	14:30～14:45	(一社) 全国落石災害防止協会	岩接着DKボンド工法	C-12
B-21	設建設リサイクル・ その他	14:45～15:00	(一財)日本建設情報総合センター	ICTプラットフォームによる現場のDXの推進	D-04

※都合によりプログラム内容に変更等が発生する場合がございます。

夢メッセみやぎ 会場案内図



# 屋内展示 場案内図



### 凡例

A	設計・施工の技術分野
B	維持管理・予防保全の技術分野
C	防災・安全の技術分野
D	建設リサイクル・その他の分野

※各受付及び展示物等の配置箇所はイメージです

コンコース内特設コーナー【第30回開催記念パネルリクルートコーナー、高校生橋梁模型展示、技術パ

展示（祝辞、EE東北の歩み等）、ネル（ICT）展示】

CPD/CPDS受付

中継モニター

入場者受付

入口

館内に休憩スペースの設置

はありません

コンコース

閉鎖

アンケート回収

出口

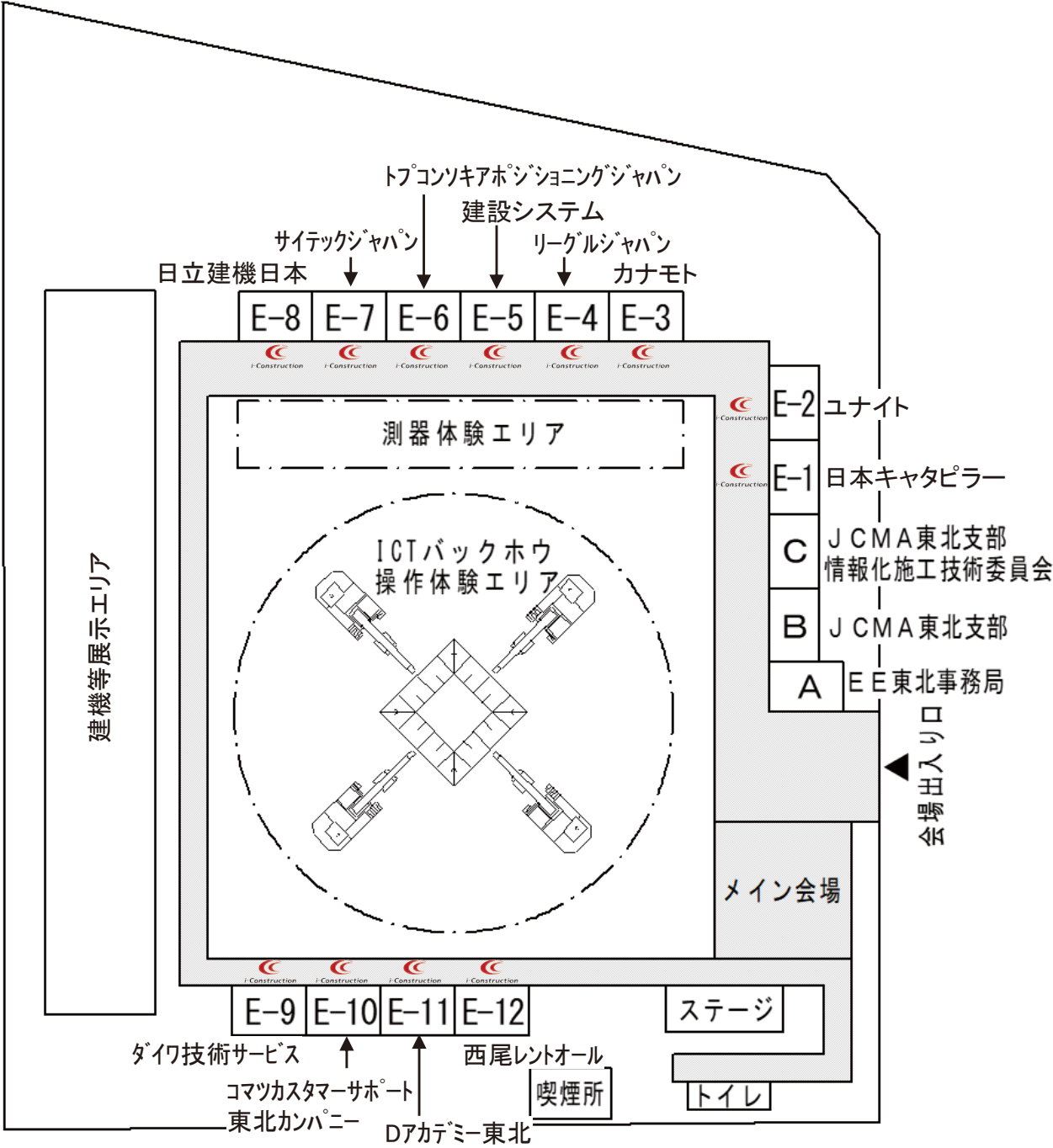
中継モニター

# 屋外展示場案内図





# i-Construction 体験広場案内図



# インフラ点検・長寿命化技術デモンストレーション案内図

